

東京 2020 大会に向けたボランティアについて

現在

東京都観光ボランティア
おもてなし東京

外国人旅行者に
対する観光案内
現在：約 2 千人

外国人おもてなし
語学ボランティア

日常生活で簡単な
外国語で外国人等
へ道案内等のコミュ
ニケーションを行う
H27 現在約 3 千人

東京マラソン
ボランティア

運営支援、整理員、
手荷物預かり、
給水・給食、
ランナー受付など

その他様々な
ボランティア

NPO、町会・自治会
商店街等の団体や
個人による様々な活動
(防犯・防災、
街の美化等)

ボランティア
活動の
未経験者

上段：毎年度の募集人数 下段：（総数）

2016 (H28)	500 人 (2,500 人)	10,000 人 (13,000 人)	毎回 1 万人 規模で活動	各団体による 活動展開 ・ 都との 連携強化	都からの 情報発信 ・ 組織委員会 の大学連携 を通じた周知 ・ 参加しやすい 環境整備
2017 (H29)	500 人 (3,000 人)	10,000 人 (23,000 人)			
2018 (H30)		10,000 人 (33,000 人)			
2019 (H31) ラグビー W 杯		2,000 人 (35,000 人)			

2020 年大会時

都市ボランティア

東京都 及び
競技会場を有する道・県等

観光・交通案内等

大会ボランティア

大会組織委員会

大会運営を支える

合計 9 万人以上を想定

東京都観光ボランティア
おもてなし東京
3,000 人



連携し一体的に大会を支える

様々なボランティア

NPO、町会・自治会、商店街
各個人など

様々な場所・内容で
活動（防犯・防災、
環境美化など）



都などと
連携

1 大会におけるボランティア

	大会ボランティア	都市ボランティア
運営主体	組織委員会	東京都 ※1
活動場所	競技会場、選手村などの大会関係施設	空港・主要駅・観光地及び 競技会場の最寄駅周辺
活動内容	観客サービス、競技運営のサポート、 メディアのサポートなど	国内外の旅行者に対する観光・交通案内及び 競技会場の最寄駅周辺における観客への案内など
規模	合計で9万人以上を想定	
募集時期	平成30年夏頃（予定）	平成30年夏頃（予定） ※3

※1 競技会場を有する都外自治体においても設置を検討中

※2 東京都観光ボランティア（おもてなし東京）3,000人を中核メンバーとする。

※3 平成29年度末頃に一部先行募集し、ラグビーワールドカップ2019においても活動

◇ 都と組織委員会はボランティアの募集、研修などの運営、大会後に向けた取組等について可能な限り連携（平成28年11月 一体的に作成したボランティア戦略案を公表）

2 東京都ボランティア活動推進協議会（平成27年9月設置）

設置目的	大会を契機として、社会全体でボランティア活動の推進と参加気運の醸成を図る。
会長	東京都知事（副会長：東京商工会議所 佐々木副会頭 首都大学東京 川淵理事長）
構成	大会組織委員会、経済団体、学校、NPO、町会・自治会など66団体
役割	① 情報提供（ボランティアの魅力や活動情報の発信など） ② 裾野拡大（参加しやすい活動機会・メニューの開拓など） ③ 大会成功（ボランティアの運用体制の検討など）

